



この愛を歌にのせて

CLOSE UP
大村人

大村少年合唱団出身でシンガーソングライターのカツルミさん。10歳で大村少年合唱団に入団。13歳から作詞を始めその才能を開花させました。現在は東京を拠点に、ママミュージシャンとして家族への思いを透き通る歌声にのせて届けています。

カツルミさんの楽曲に「ひとひら」という歌があります。この歌は、江戸時代の戊辰戦争で秋田県角館町(現・仙北市)に大村藩から出陣し亡くなった濱田謹吾少年をモチーフに作った歌です。カツルミさんも少年合唱団の一員として姉妹都市である現地を訪れていました。母となった今、少年の母が戦地に向かう息子に詠んだ和歌を読み返し、心に響いたことがこの曲を作るきっかけに。「私たちがこの歴史をちゃんと伝えなくちゃ。」とカツルミさんは歌に思いを込めます。昨年10月、仙北市で行ったチャリティコンサートで「ひとひら」を披露。12月には大村でもその活動を報告し、仙北市と大村市の友好の架け橋となっています。

「若い頃はラブソングばかりを作っていますが、出産や子育て、病気の経験から、家族愛や命の尊さを歌にするライフソングを作るようになった。」とカツルミさん。2月の宿場まつりでは、その「ひとひら」を披露しました。3月31日には、市民会館のファイナル・イベントにも出演。「少年合唱団の頃から、何度も出演した原点ともいえる場所。」で、故郷大村への思いも込めて、閉館に花を添えます。



Profile

カツルミ
昭和55年6月18日生まれ
小学3年生から大村少年合唱団に所属。大学卒業後、ウエディングシンガーとして長崎で活動。平成19年から活動拠点を東京に移す。楽曲提供、ミュージシャンサポート、舞台音楽制作アシスタントなどもこなす。先日上映された映画「はなちゃんのみそ汁」では方言指導も。35歳。

シンガーソングライター

カツルミ さん



クローズアップ

大村人

vol.14

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。